

25 市町等の主な課題と対応策

※ () 内は市町・団体における課題への対応状況等

【1 市町社会教育費の現状】

- ・ 施設の老朽化に伴う管理費、修繕費等の予算確保が厳しくなっている。(修繕費等は計画的に優先的なものから行い、職員で対応できるもの対応する等。)**【上島町】**
- ・ 例年、前年度比5%の予算削減を求められており、予算計上・事業計画に苦慮している。(市民サービスの低下につながらないよう、配慮している。団体補助金も削減を求められているが、団体にも理解していただくよう説明している。)**【西予市】**

【2 市町社会教育関係職員の現状】

- ・ 社会教育において、社会教育指導員を配置しておらず、専門的に取り組むことが難しい。(学校と連携を図りながら進めている。)**【上島町】**
- ・ 社会教育係長が不在で、専門員(再任用職員)が係長対応をしており、若手職員と会計年度任用職員の配置であるため、経験が不足している。(生涯学習課内で、互いに協力し合い事業を実施している。)**【上島町】**
- ・ 社会教育主事の人材確保。(令和2年度から社会教育士としての称号付与について、教育委員会内の職員だけでなく、市長部局に在籍する職員にも募集をかけることとした。【研修旅費についても職員研修費で賄うこととしている。】)**【西予市】**

【3 市町社会教育委員の現状】

- ・ 高齢化に伴う後継者不足。(地域人材の発掘。)**【久万高原町】**
- ・ 委員会のマンネリ化。(視察研修予算の計上、委員会協議内容の検討。)**【西予市】**
- ・ 委員に各分野の代表(会長)を委嘱しているが、各団体の役員任期が1年から2年となっているため、十分に事業を理解できないまま委員交代となっている。(委員会時は質疑応答の時間を十分にとっている。)**【砥部町】**

【4 ボランティアバンク(ボランティア支援センター等)設置状況】

- ・ 技術ボランティア養成講座の参加者数が定員に対して少ない。(SNSを活用し、多くの方に見ていただけるように広報している。また令和3年度は独自のホームページを開設した。また令和4年度には「地域情報サイト」に登録し、随時新着情報を更新している。)

【新居浜市】

【6 公民館施設・体制の現状】

- ・ 施設の老朽化に伴い、十分に施設を利用しての活動ができない。(他の公共施設を利用して活動をしている。)**【上島町】**
- ・ 新型コロナにより事業ができなくなっている。(貸館については、3密回避や手洗い消毒の徹底などを実施。)**【内子町】**
- ・ 社会教育主事有資格者が少ない。(令和4年度において社会教育主事講習を受講予定。)

【久万高原町】

【7 公民館利用状況の現状】

- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、期間限定ではあったが臨時休館・利用制限が実施され、通常時と比べ事業数・利用人数の減少が見られた。また、感染予防のため活動を自粛する利用団体が多くあった。（非接触型体温計や手指消毒用資材の設置など、基本となる感染予防措置の導入。）【東温市】
- ・ 主催事業においても、感染予防のため中止となった事業があった。（アフターコロナに向けた、感染予防とのバランスを考慮した公民館活動活性化施策の検討。）【東温市】

【8 青年を対象とした学級・講座の現状】

- ・ 受講生が固定化し、受講者数が少なくなっている。【伊予市】
- ・ 独自の開催が難しい。（他団体が開催する学習会への参画。）【久万高原町】
- ・ 自主的な学級の組織が困難である。（地域行事に参加している青年との関係を密にして、学級を育成している。）【八幡浜市】

【9 女性（婦人）を対象とした学級・講座の現状】

- ・ 女性団体の組織の高齢化、役員が中心の活動となってしまう。（役員外も参加でき、活動の活性化となるような研修を計画している。）【砥部町】
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のために学習の機会が減少した。（感染症対策を行うことで参加可能となる学習を企画・実施した。）【八幡浜市】
- ・ 講座の内容により、参加人数の増減がある。（婦人会に所属していない人への主体的な社会参加の促進を促す。）【八幡浜市】
- ・ 公民館や小学生・高齢者との交流など、地域から必要とされ、頼りにされている反面、要請が多くなっている。（女性の社会貢献の高さを、地域が称揚することで、意欲や向上心を高めていく。）

【八幡浜市】

【10 成人を対象とした学級・講座の現状】

- ・ 「つくり育てる花教室」は令和3年度をもって廃止となった。（砥部町）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のために学習の機会が減少した。（感染症対策を行うことで参加可能となる学習を企画・実施した。）【八幡浜市】
- ・ 地域によっては、内容次第で男女の参加比率の差が大きい。地域とのイベントの共同開催が多い。（参加者の主体的な社会活動の促進を促している。）【八幡浜市】
- ・ 学級回数の増加に対して、男性の参加者の増加がない。参加者が固定している。（参加者の多様なニーズに応えられるように工夫・改善を行っている。地域を挙げた学級運営を行っている。）【八幡浜市】

【11 家庭教育に関する講座の現状】

- ・ 事業連携する施設・団体が地域ごとに偏りが生じている。（各施設等で事業計画を策定する時期よりも前に、サポートグループについて周知し、連携強化・普及に努めている。）

【伊予市】

- ・ スタッフの高齢化に伴い、現役子育て世代からの悩みに対応ができない場合がある。（高齢スタッフには事務局職員が補佐、別スタッフが同伴するなど工夫している。）【伊予市】
- ・ 参加率の向上。（新型コロナウイルス感染症対策を行った学習内容を取り入れたことによって、参加率が上がってきている。）【八幡浜市】

【12 高齢者を対象とした学級・講座の現状】

- ・ 令和3年度をもって事業を廃止。（砥部町）
- ・ 高齢者の課題に応じた学習機会の確保。【交通安全、認知症予防、体力づくりなど】
【八幡浜市】
- ・ 参加者の固定化、参加者の偏り。（参加が期待できる活動と抱き合わせるなどして、事業を実施する。）【八幡浜市】
- ・ 母体である老人クラブの世代交代がスムーズにできていないため、解散したクラブや参加者が減っている地域がある。（地区公民館が主体となって、新しい形の組織を育成していく必要がある。それにより、リーダーを育成していく。）【八幡浜市】
- ・ 事業内容のマンネリ化及び参加者の固定化。（新しい軽スポーツ種目の体験会を実施。）
【久万高原町】

【13 青少年の地域活動の現状】

- ・ 新規の主催行事について、スポーツ推進委員からのどれほどの協力を得ることができるか不透明である。（事前に推進委員向けに研修会を開き、ニュースポーツへの興味関心を高めておく。）【伊予市】
- ・ コロナ禍が続くため、計画はあるものの実施できるかどうかわからない。【東温市】
- ・ 新型コロナウイルスの影響による事業の中止、参加者の減少。【内子町】
- ・ ワクチン接種率は向上しているが、家庭内感染等もあるため、感染対策を行いながら企画を行う必要がある。（新型コロナウイルス対策として、手指の消毒、検温、定員制限【バス移動等も含む】による3密回避などの対策を行っている。）【内子町】

【14 子ども会の現状】

- ・ 子どもの減少。（近隣地区の児童・生徒への参加の呼び掛け。）【八幡浜市】
- ・ 習い事や生活様式の変化により、子ども会へのニーズが減ってきている。（保護者の意見を聞きながら、需要が高い子ども会活動を行う。）【八幡浜市】
- ・ 地区によっては、活動休止状態が続いている。【八幡浜市】

【15 目的少年団体の現状】

（1）ボーイスカウト

- ・ 指導者の確保。（ボーイスカウト講習会を年3回開催し、保護者等への啓発をしている。）
- ・ 加盟員数の減少が課題になっている。また、中途退団者が増えている。（募集チラシを配付したり、各団や地区で体験イベントを開催している。）

（2）ガールスカウト

- ・ スカウト数が減少傾向にあること。（継続して募集活動を行う。）

- ・ スカウトのいない団、ほとんどいない団があること。(親子で体験活動に参加してもらい、楽しさを体験してもらう。)

【16 青年団体の状況（地域青年団）】

- ・ 役場職員以外の加入者が少ない。(現加入者からの声掛けによる勧誘を行っている。)

【内子町】

【17 婦人団体の現状（１）】（愛媛県連合婦人会に加盟している地域婦人会）

- ・ 会員の高齢化と会員数の減少、新規加入者の不足など。(参加しやすい日程での実施や、言葉の配慮【分かりやすい言葉で表現すること】など。)(関係諸団体や関連機関との協力を図り、地域に貢献する婦人会活動の継続や後継者の育成に努める。)(会員のニーズに沿った魅力ある活動の実施。)(事業内容の見直しや役割分担により負担軽減を行っている。)(愛語を心掛け、丁寧なコミュニケーションを行う。)(婦人会だけでなく、他の団体との積極的な交流を行う。)(子どもと保護者等と一緒にできるイベントを実施し、その際に勧誘活動を行う。)(中学校と連携したイベントを行い、勧誘活動等を中学生にも協力してもらう。)

【四国中央市】【今治市】【東温市】【伊予市】【久万高原町】【大洲市】【八幡浜市】

【西予市】【宇和島市】【鬼北町】【愛南町】

- ・ 全会員のスキルアップを目標とする研修内容とその持ち方。(伝統と新しい文化との学びの場を持ち、魅力ある生き方を目指す婦人会活動を工夫する。)
- ・ 学校や関係諸機関との連携の持ち方。(子どもたちが地域の伝統文化にふれ、誇りをもって継承できるように、学校や地域との連携に努める。)
- ・ コロナ禍で自粛期間が長かったため、活動再開に向けた意欲の低下がみられる。また、役員は一人で何役もこなさなければならないため、疲労困憊気味である。(会員が気持ちよく笑合える、茶話会のような気軽で心休まる環境づくりを行いたい。)
- ・ コロナ禍により、活動が制限される中、会員一同での交流はもとより活動の継続の難しさを感じている。

【17 婦人団体への現状（２）】（愛媛県連合婦人会に加盟していない地域婦人会）

- ・ 会員の高齢化と会員数の減少。(婦人会活動の内容や回数を精選し、高齢化に伴う身体的・精神的な負担を軽減する。)
- ・ 新規加入者の不足。(関係諸団体や関係機関との協力を図り、活動の継続や後継者の育成に努める。)
- ・ 全会員のスキルアップを目標とする研修内容とその持ち方。(時代の変化や社会のニーズに応じた、魅力ある研修内容になるように工夫する。)

【18 愛護班の現状】

- ・ 班員数減少に伴う愛護班の存続について。
- ・ 時代のニーズ、環境の変化への愛護班活動の取り組みについて。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、集まって活動することが難しい。(可能な限り、感染対策をして活動していく。)

- ・ 世帯数、児童数の減少に伴い、個々の負担が増加し、行事の運営が難しくなっている。(PTA活動と兼ねた事業の実施。)【八幡浜市】
- ・ 一部の役員の負担が大きくなる傾向にある。【八幡浜市】
- ・ 新型コロナウイルスのまん延状況をみながらの事業の実施・判断。(感染防止対策を徹底した上での事業の実施。)【八幡浜市】

【19 PTAの現状】

(1) 小・中学校

- ・ コロナ禍で自粛期間が長かったため、行事を再開するとなると、例年行事の経験者が少ない上に、コロナ対策も行う必要があるため、会合等での協議に時間を要する。(会長・副会長間でこまめに連絡を取り合い、決め事がスムーズに進むよう、多くの案を出し合っている。)
- ・ 地域に子どもが少なくなり、学校の存続自体に不安を感じる声も出ている。(子連れ移住者の受け入れ促進など、行政・地域が一体となった取り組みを行っている。)
- ・ 会員数減少によるイベントの参加者減少。(イベント参加者の門戸を広げている。)

(2) 国立幼稚園

- ・ 会員の減少、廃園・休園が年々増加している。【今年度は1園がこども園に移行し、1園が廃園。】(こども園の動向について、関係機関と連携し情報収集に努めたい。)

(2) 県立学校

- ・ 高P連の役割の一つは、各学校のPTA会員の皆様に対して、全国の情報や研修の機会を提供し、そこで得た経験や研修会での親自らが学ぶ姿勢を示すことにより、子どもたちの成長の手助けとなるよう家庭環境の発展への一助となることを期待して開催しているが、研修会等への参加人数が伸び悩んでいる。(研修会等への参加は、多くの会員の皆様が参加することにより、県単位での連携を深める場であることの有用性を説明してまいりたい。また、高P連の役割と意義について粘り強く説明してまいりたい。)

【20 おやじの会の現状】

- ・ コロナ禍の影響で、活動の縮小や中止が余儀なくされている。(オンラインイベントの実施。)
- ・ 新規加入が少なく、OB会員が多くなった。(学校行事での積極的な声掛けや活動のアピール。)

【21 博物館の現状】

- ・ 入館者の減。(企画展や常設展の充実。)

【22 県内公共図書館の現状】

- ・ 新型コロナウイルス感染症による利用者減の回復。(コロナ禍における事業の見直しや、感染対策を講じた環境整備。)
- ・ 既存資料と電子書籍やデジタルアーカイブのバランスをとりながら、どのように図書サービスの満足度を上げていくか。(図書館や読書に興味を持ってもらうため、年齢層に応じた様々なイベントや行事を開催。)
- ・ 予算の範囲内での新たな事業の掘り起こしや、既存の事業の見直しにどう取り組むか。(常

に市町民が図書館に求めている課題の掘り起こし、予算の範囲内で解決可能か判断して対応。）
（他の図書館や関係機関等と連携し、市民が求める知識や情報を提供するように努めている。）

【松山市】

- ・ 新型コロナウイルス対策に対応したサービス方法。（新型コロナウイルス対策をしながら運営を行っている。）【松山市】
- ・ 施設の所蔵能力の上限を超過しているため、受入数と同程度以上の資料除籍が必要となり、その選定・実施作業が負担になっている。【今治市】
- ・ コロナ感染防止対策として、利用制限や臨時休館を実施しているため、今後の利用者数等の回復に懸念がある。（Web 上からの貸出延長サービスの開始や、ネット予約可能な資料範囲の拡大を計画中。）【今治市】

【23 生涯学習振興計画等の現状】

- ・ 少子高齢化に伴う公民館活動や地域連携、文化の振興や生涯学習講座などの諸活動の停滞。（市町民の交流を促進するために地域のニーズに合った学習と活動の場を確保し、互いに支えあうコミュニティづくりを目指している。）【久万高原町】

【24 障がい者の生涯学習の現状】

- ・ 障がい者の生涯学習は実施できていない。今後障がい者が参加できる事業を実施していく必要がある。（砥部町）